

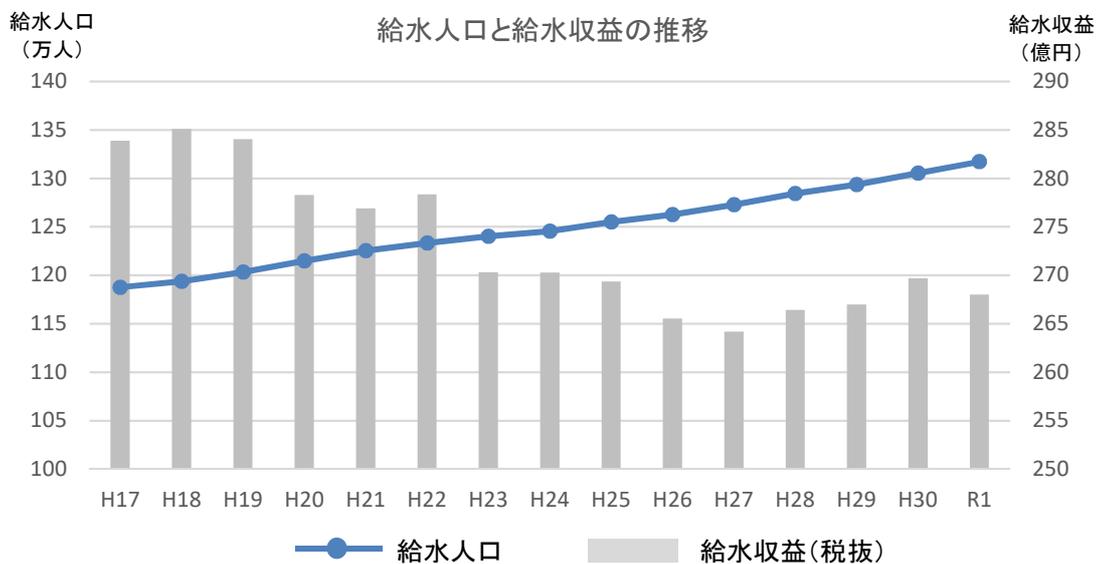
# 水道局 令和3年度 局運営方針（案）

## 1. 主な現状と課題

現在、本市の人口は増加傾向にありますが、将来的には減少に転じ、併せて給水収益も減少していくと推測されます。

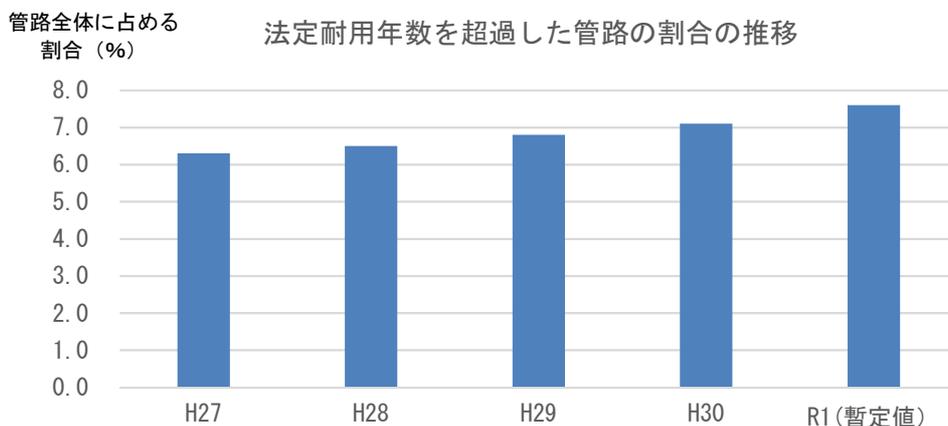
一方で、水道施設や管路の老朽化が進み、その更新需要は更に増加していく見込みです。また、災害時においても安定した給水を行うため、耐震化対策を推進する必要があります、これらを計画的に進めていくことが課題となっています。

このような状況に対応するため、将来の人口減少に伴う水需要の減少を踏まえ、財政とバランスの取れた施設整備を行い、効率的かつ効果的な事業運営を推進する必要があります。



### (1) 水道施設の再構築の推進

安全・安心な水道水を安定して供給していくため、将来の水需要の減少を踏まえた、水道施設の効率的な配置や適切な施設能力・規模への計画的な改良・更新を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靱な水道施設の再構築を推進する必要があります。



## 2. 基本方針・区分別主要事業

財政とバランスの取れた水道施設の計画的な改良・更新を進め、安全で強靱かつ持続的な水道の構築を目指します。

(1) 水道施設の改良更新、耐震化等の整備を計画的に進めます。

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和3年度	令和2年度	説明	概要掲載ページ
1	総振	水道施設整備事業 〔水道計画課〕	11,356,186	11,549,936	水道水の安定供給を図るため施設整備を推進	617

会計名 水道事業会計		47,572,487		
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課	〔財源内訳〕		
予算書	水道事業会計予算書	1款 水道事業収益		
<事業の目的・内容> 市民生活を支えるため、安全で良質な水道水を安定して供給するとともに、地震等の災害や渇水にも強い、たくましい水道をつくっていきます。 また、健全経営の下、効率的な施設運営や利用者の視点に立った質の高いサービスを提供します。		1 営業収益	32,046,884	
		2 営業外収益	1,342,463	
		3 特別利益	12,293	
		1款 資本的収入		
		1 企業債	5,692,000	
		2 負担金及び寄附金	357,072	
		3 補助金	183,763	
		4 資産売却代金	47	
		前年度予算額		48,702,288
		増減		△ 1,129,801
<主な事業>				
【収入】		【支出】		
[1款：水道事業収益] 33,401,640		[1款：水道事業費用] 28,736,643		
1 営業収益 32,046,884	1 営業費用 27,480,556			
(1) 給水収益 29,309,962	(1) 水源費 9,060,712			
水道料金収入です。	受水費 8,269,974			
[参考]水道料金収入の推移 (税抜)	埼玉県からの受水に係る費用です。			
平成29年度決算額 26,697,457,938円	(2) 総係費 1,807,420			
平成30年度決算額 26,967,627,451円	ア 国際協力推進事業 12,237			
令和元年度決算額 26,798,808,987円	水道局で培った経験や技術力を海外で生かすため、			
令和2年度当初予算額 27,130,602,000円	ラオスへの技術支援を行う事業です。			
令和3年度当初予算額 26,645,420,000円	[総振：01-3-1-04]			
(2) その他営業収益 2,631,033	イ 震災対策事業 117,938			
ア 配給水管維持管理等負担金 329,480	災害時に、応急給水や速やかな復旧ができるよう			
下水道などの他事業が地下埋設物を設置する際、	計画を立て、また、職員訓練等を実施する事業です。			
支障となる水道管を移設させる場合等に受けるもの	ウ 水道局広報広聴事業 36,168			
です。	各種イベントや水道だより等を通じて利用者の水			
イ 下水道使用料同時徴収事務負担金 994,294	道への理解や関心を深めるための事業です。			
サービス向上のため実施している上下水道料金一括	(3) 配給水費 10,750,094			
徴収の経費のうち、下水道使用料部分の負担金です。	ア 社会福祉就労支援事業 11,790			
ウ 分担金 1,237,958	耐用年数を過ぎた水道メーターを再利用可能な部			
新たに水道メーターを設置するなどした利用者が、	分と廃棄する部分とに分解する作業を授産施設に委			
口径に応じて負担するものです。	託する事業です。			
2 営業外収益 1,342,463	イ 小中学校飲用水直結化推進事業 224,095			
(1) 長期前受金戻入 1,251,096	おいしい水をいつでも直接蛇口から飲めるよう、			
償却資産の取得及び改良時に交付された補助金等の	学校への給水方法を直結式に切り替える事業です。			
減価償却等に伴う収益化額を計上します。	ウ 配給水管修繕事業 1,520,759			
	迅速かつ円滑に漏水修繕を行うことにより、安定			
	した水道水の供給を図る事業です。			
	2 営業外費用 1,047,607			
	(1) 企業債利息 752,245			
	企業債の利息の支払に係る費用です。			
	3 特別損失 188,480			
	(1) 減損損失 187,181			
	配水幹線の工事中止による減損に係る費用です。			

(※ 職員人件費については、P.618に掲載しています。)

【収 入】		【支 出】	
[1款：資本的収入]	6,232,882	[1款：資本的支出]	18,835,844
1 企業債	5,692,000	1 建設改良費	14,086,717
水道施設の整備事業に係る企業債です。		(1) 施設整備費	12,615,682
		水道施設整備事業	11,356,186
			[総振：09-2-4-01]
2 負担金及び寄附金	357,072	<地下水源の整備>	5,538
開発事業者等の依頼に基づく水道管の布設に係る負担金等です。		地下水源の保全と有効活用を図るため、老朽化した深井戸の更新・改良を行う事業です。	
3 補助金	183,763	<拠点施設の整備>	886,147
生活基盤施設耐震化等交付金による県からの補助金です。		老朽化した自家発電設備等を更新する事業です。	
		<配水管の整備>	1,181,972
		漏水多発や出水不良の給水管の解消やバックアップ機能の強化を図るため、配水管を整備する事業です。	
		<老朽管の更新>	8,624,098
		漏水等の事故防止を図るため、老朽化した水道管を計画的に更新し、同時に管路の耐震化を図る事業です。	
		<耐震化の推進>	658,431
		震災での被害を最小限に抑えるため、浄・配水場施設等の耐震化を進める事業です。	
		(2) 設備改良費	1,471,035
		計量法により定期的に交換の必要な水道メーターの設置等に要する経費です。	
		2 償還金	4,739,127
		企業債の元金償還金に係る経費です。	
			[総振：52-2-2-01]